

経 済 港 湾 委 員 会 記 録 (No.8)

1 日 時 令和7年7月3日(木)
午前10時01分 開会
午前10時10分 閉会

2 場 所 第3委員会室

3 出席委員(8人)

委 員 長	渡 辺 修 一	副 委 員 長	三 宅 まゆみ
委 員	菊 地 公 平	委 員	上 野 照 弘
委 員	富士川 厚 子	委 員	大 石 正 信
委 員	井 上 しんご	委 員	松 尾 和 也

4 欠席委員(1人)

委 員 香 月 耕 治

5 出席説明員(0人)

6 事務局職員

委員会担当係長 伊良皆 公 一 書 記 西 嶋 真

7 付議事件及び会議結果

番号	付 議 事 件	会 議 結 果
1	行政視察について	委員会での意見を踏まえて、正副委員長で協議し、視察先の優先順位を決定することとした。

8 会議の経過

(7月1日付人事異動に伴う人事紹介を受けた。)

○委員長(渡辺修一君)開会します。

本日は、所管事務の調査を行います。

行政視察について協議を行います。

委員の皆様から提出いただいた視察先の案について取りまとめを行い、正副委員長案としてお手元に配付をしております。

前回の委員会で決定しましたとおり、本日はこの案の中から皆様の御意見を伺い、視察先の優先順位を決定いたします。

今後の作業としましては、事務局において視察先との受入れ交渉を行い、最終的な視察先、日程等の案を提示させていただきたいと思っております。

それでは、お手元配付の案について、皆様の御意見等をお伺いしたいと思います。御意見はございませんか。大石委員。

○委員（大石正信君） 東京の多摩市では公契約条例を制定しています。北九州市は公契約条例がないんですけども、この公契約条例というのは、市と業者が契約を結んだときに、賃金が末端まで支払われる制度、幾ら契約したとしても、それが2次、3次、孫請になれば、末端の賃金の状況が把握されていないという状況があるんで、そうなれば地域の雇用者報酬が上がらない、賃金が上がらない状況になってまいりますので、この公契約条例は全国で制定しており、この東京都多摩市ではこれをやっているんで、ぜひ視察先に入れてほしいなど。

それと、富山県の高岡市では、人口減少がずっと進んでいく中で、地元の伝統産業を育成していくために、担い手、高校生とか大学生なんかと一緒に頑張ってどうやって地域の伝統産業を守っていくのかという形でやられているんで、ここも空き店舗を活用した商店街振興とか、そういうものを行っています。

また、京都市でも、商店街がずっと閉店されている中で、商店街にコーディネーターを派遣をして地域、商業者と一体になって飲食や買物、体験、商業コンテンツを育成しているということで、中小の商店街も含めて非常に活性化してきている状況がありますので、ここを見ていくものがあるんじゃないかなと思いますので、最終的には委員長、副委員長によって視察先は決めていただきたいと思います。以上です。

○委員長（渡辺修一君） ありがとうございます。今大石委員からいただいた提案もどれも重要な部分だと思いますので、ありがとうございます。

ほかに御意見ございませんでしょうか。上野委員。

○委員（上野照弘君） 5番目の風力発電について、これを提案させていただいたのは僕なんですけれども、若松区で進む洋上風力発電施設の現場において、このような悲しい事故が起きてはいけないという思いの中からこれをちょっとお示しさせていただいたわけでありましてけれども、ここは人が亡くなっているような現場でありますので、みんなでつらつらと行くようなものじゃないなと思いましたので、ここは落としたいと思っています。

9番目の五島市の浮体式の視察なんですけれども、実はちょっと先走って、先日勉強に行っ

てきまして、日本でも唯一の浮体式のもうすばらしい取組をされているところで、7月20日にはもう最後の8本目が建ち上がってというところでありました。世界的にも浮体式でここまでやっているのは多分日本で唯一ここだけじゃないかなというところでありまして、若松区に1本今建っている白島沖の浮体式の施工をされた吉田組さんというところが今五島にずっと張りついてされているんですけども、もう本当にすばらしいことしているなという感じでありましたので、五島という土地柄、やっぱり島でありますから、なかなかほかの視察先への移動とか考えるとちょっと難しいかもしれませんが、かなり勉強になったなと思いましたので、ちょっと御報告ということでさせていただきます。

○委員長（渡辺修一君） ありがとうございます。

ほかに御意見はありませんでしょうか。富士川委員。

○委員（富士川厚子君） 私は公営競技のインバウンド施策で、ここ今観光課は所管ではなくなってしまったんですけど、昨年6月から日本で初めて住之江のボートレース場で夜間観光の実証実験みたいなもの始めていますし、また公営競技は北九州市にとっても大きな財源の一つであるのと、この住之江は結構いろんな取組をされているので、そういうのも見に行けたらなと思って上げさせていただきました。以上です。

○委員長（渡辺修一君） ありがとうございます。菊地委員。

○委員（菊地公平君） 私は沖縄、那覇空港の取組というところで上げさせていただいております。何がしたいかという、今後滑走路3,000メートル化、また物流空港として北九州空港がこれから新たに取組を考えていく中で、物流のトライアル事業みたいなことを那覇空港がしていたというのがございまして、結局、集貨がないと定期航空便もなかなか難しいというところもあるので、どういった集貨施策をしたのかというところが非常に参考になるかなと思っております。

決して那覇空港全部がうまくいっているというわけでは、どうやらなさそうなんですけど、それでも北九州空港の参考になる分という意味では見に行く価値があるんじゃないかなろうかと考えて上げさせていただきました。僕からは以上です。

○委員長（渡辺修一君） ありがとうございます。井上委員。

○委員（井上しんご君） 私も秋田をはじめとする風力発電の提案をさせていただきました。

北九州市若松沖が、いよいよ風車の設置が始まって、もう間もなく全て設置が終わると聞いております。北九州市はこれからなんですけども、今年に入っているいろいろと相次いで新聞とかマスコミ等で、今年の風力発電事業は非常に厳しいだろうと報道されました。

というのは、昨年の欧州での事業撤退とか、事業縮小というところが影響して、また、円安もあって、国内では非常に裾野の広い1万点という部品で、市内産業も行けるということでの北九州市も頑張っていますけども、まだまだ輸入に頼っている部分もあるということで、そういった部分で資材高騰等で厳しいんじゃないかと。

また、先行していた秋田とか千葉沖での三菱商事とか電力会社が損失を計上するという状況もあって、そういうのを非常に懸念をしております。

とはいっても、風力発電の優位性というか、要はこれ本当に、今、日本メーカーは撤退しているということですけども、また、日本のメーカーで風車をつくるであるとか、また、そこに関しても部品の供給等でサプライチェーンとかも、本当に日本の産業化にしていく大きな可能性を秘めていると思っています。

そういった部分で先行した事業者で、厳しいと言われている中でこういった取組をして今回の今年の世界的な状況乗り越えようとしているのか。

また、それから地元に戻るといって、地元の部品とかをなるべく生かすためのどういう取組をしているのかについて勉強したいと思ひまして提案しました。以上です。

○委員長（渡辺修一君） ありがとうございます。三宅委員。

○委員（三宅まゆみ君） 私は、長崎スタジアムシティを提案させていただいておりますが、ジャパネットさんが中心になって商業施設とかオフィスとかホテルとか複合施設をつくっていて、相当な規模だということと、雇用の創出にもかなりつながっている。それから、コワーキングスペースなどとか、こういった民間主導の複合施設というのも、北九州市は一応スタジアムはありますけれど、それ以外、例えば野球場なんかも今後可能性としてありますので、こういったものもいかがかなということで提案させていただいております。

○委員長（渡辺修一君） ありがとうございます。

ほかに意見はございませんでしょうか。

分かりました。今お伺いさせていただきました御意見、本当に全部行きたいところなんですけれども、なかなか離れておりますので、それを一つにまとめるが難しくあるんですけれども、本日の意見を踏まえまして、各委員が共通して関心の高い案を基に、副委員長と協議をした上で優先順位の決定をしたいと思ひますけれども、いかがでございましょうか。

（「異議なし」の声あり。）

ありがとうございます。

それでは、御異議なしと認め、そのように決定をいたします。

ほかになれば、本日は以上で閉会をいたします。

経済港湾委員会 委員長 渡 辺 修 一 印